

別府市就学前教育・保育ビジョン（素案）修正版説明会質疑応答等概要一覧

番号	質問者	質問概要	回答内容（市の考え方）
1	事前質問 (質問者A)	<p>修正版には、複数年保育について、変更が無いようお見受けしましたが、間違いないでしょうか？                      昨年の地域説明会でも出されてました。                      また、同じ市立幼稚園でシステムが違うことに不平等だと思いますが如何でしょうか？                      さらに私立幼稚園との均衡をはかるためにも複数年保育（3年保育）は必要だと思いますが如何ですか？</p>	<p>ご指摘の通り、複数年保育についての方向性は当初案のとおりです。市立幼稚園の複数年保育導入については、別府市就学前の子どもに関する教育等協議会で「複数年保育の一部導入」という形で報告を受け、民間施設に配慮した形で実施する必要があると考えます。よって、5歳児以下の子どもを受け入れることが可能と考えられる、2園で2年保育を導入したいと考えています。</p>
2	事前質問	<p>質問したらしっかり答えてくれる相手も同席するのか基だ疑問。前回の市役所での質疑応答では、質問者にあやふやな返答しか返せていなかった。                      今回の計画で市民に有益になる内容を得られない。市政100周年よりも、市の人口減少を歯止めするための正念場だと思う。                      今市政に携わる人間の老後を支えてくれる若い人を増やさなければ、別府市も大分市に吸収合併される未来も遠くないのでは？とおもう。こんかいの幼稚園合併のように。新しい世代を保育している若い保護者の困りをどこに届ければ良いのかが分からない。</p>	<p>別府市では、「湯けむりとぬくもりのなかで、子育てしやすいと実感できるまち」を基本理念として、子育て支援の取組みを充実させてまいりました。引き続き、市民の声を聞きながら市全体の取組として限りある資源を最大限活用し、こどもまんなか社会の実現を目指してまいります。</p>
3	事前質問	<p>申し込み現在（素案）修正版の公表前なので意見できません。                      この入力で意見提出を求めているのなら、修正版を早めに公表するべきなのでは？                      説明会で初めて目にした修正版の指摘は厳しいと思います。</p>	<p>市民の皆様には計画の修正案を提供し、ご意見を得ることが今回のビジョンの策定にあたり重要であると考えております。修正案についてはこれまで説明会等いただいたご意見を踏まえ、ビジョンを推進するにあたり課題と思われる点について関係者との協議や調査を重ね、2月13日に公表いたしました。説明会では具体的に課題と思われる点とその対応について説明をいたします。ご意見については、2月29日までパブリックコメントを募集いたします。</p>
4	質問者A	<p>子育てがしやすい環境を作るためには、市立幼稚園も私立幼稚園も3年保育ができる環境を作ることが先ではないかと思えます。                      市立幼稚園の単年度保育を継続するのであれば、保護者ニーズにあった複数年保育の私立幼稚園を選択するのが自然です。民間に配慮した形とあるが、市立でも、私立でも同じ環境で教育・保育をしていくことが未来志向につながっていくと思えます。                      民間施設の配慮はずっと続くのか、配慮の意味を教えてください。</p>	<p>これまで、私立幼稚園は3年保育、市立幼稚園は1年保育を実施してきました。市立幼稚園の複数年保育実施については、別府市就学前の子どもに関する教育等協議会の中で、「1年限りではなく複数年で教育することが理想的である」「本市には私立幼稚園、保育所が多数あることを考慮しながら市立幼稚園で複数年保育について考えていく必要がある」ということで意見が一致し、令和3年6月に「市立幼稚園における複数年保育の一部導入」という形で報告を受けています。                      別府市では、官民一体となって子ども達の育成に取り組んでおります。複数年保育については、2園での先行実施の後、必要であれば展開する考えです。また、将来的に3年保育をする可能性も完全には排除していません。市立幼稚園の複数年保育については今後も検討を進めていきます。</p>
5	質問者B	<p>今後ビジョン策定後、進捗状況をどういった方法で報告してくれるのか教えてください。</p>	<p>ビジョンの進捗や最新の情報は別府市公式ホームページにてお知らせいたします。別府市ライン公式アカウントから子育て情報の登録をお願いいたします。</p>
6	質問者B	<p>令和6年度以降の5歳児の受け入れ可能人数は市全体なのか。市全体均一に受け皿の余裕があるのか。</p>	<p>5歳児の受け入れ可能人数については、別府市内の私立幼稚園・認定こども園・認可保育所を対象に調査を行いました。受け入れ可能人数は各中学校区ごとで異なりますが、市全体として受け皿の確保はできていると予測されます。</p>

別府市就学前教育・保育ビジョン（素案）修正版説明会質疑応答等概要一覧

番号	質問者	質問概要	回答内容（市の考え方）
7	質問者B	保護者ニーズがあるのわかっているのに、2年保育をするのか。可能であれば、早めに3年保育をして欲しい。	No.4と同じ
8	質問者C	市立幼稚園は主に5歳児を対象とした施設であり、3、4歳児を受け入れるのであれば、年齢にあった施設設備が必要になると思います。トイレや教室のサイズなど、5歳児に適した設備や環境が3、4歳児には必ずしも適さないため、新しい施設を作って欲しい。施設設備の環境を整えるには、計画を進め方が性急であると思います。	施設設備について、4歳児が通園する場合を想定して、トイレの数や施設状況等、各幼稚園を調査をした上で、対応していきます。
9	質問者C	市立幼稚園が中学校区に1園になると、保育所や私立幼稚園の利用を選択する保護者も増えると思う。きょうだいがいると、保育園や小学校、高校生の塾や習い事のお迎えもあり、保護者の負担が大きくなる。現在の状況をあきらめている保護者もいると思うので、そういった声をきちんと聞いて欲しい。	別府市へのご意見・ご要望は別府市公式ホームページやお電話等に随時承っております。また、市政フォーラム等様々な機会を通じて市民の皆様のご意見を市政に反映していきます。 なお、ビジョン（素案）修正版についてのご意見はパブリックコメントをご利用ください。
10	質問者C	認定こども園についてメリットがわからない。	認定こども園は幼稚園と保育所のそれぞれの良さを生かしながら、保育を必要とする子どもも必要としない子どもも受け入れて、教育・保育を一体的に行う施設です。また、集団活動・異年齢交流に大切な一定規模の集団の中で育つことができます。
11	質問者D	定期的にビジョンの進捗状況の報告を行い、随時、困りごとを吸い上げることもしてほしい。	No.5と同じ
12	質問者D	早朝保育の予定時間について書かれていない。早朝の開所について予定の時間を教えてほしい。	早朝の預かり保育の開所時間について、2月に実施した市立幼稚園預かり保育利用保護者向けアンケートでは、130人から回答がありました。その中で41人の方が8時よりも前の時間の開所を希望し、その内15人の方が7時半開所を希望していることがわかりました。7時半から8時までの開所時間を検討していく必要があると考えています。
13	質問者D	幼保小連携について、コーディネーターの配置予定人数を教えてください。令和6年度の幼保小連携のモデル地域はどこかを教えてください。	コーディネーターは、市立幼稚園は7園になるため、各中学校校区に1人の配置を検討しています。これまでと同様、幼稚園正規職員を幼保小連携コーディネーターとして指名します。また、幼保小連携のモデル地域指定については令和6年4月以降に小学校、幼稚園、保育園の関係者と話した上で進め、地域をお示しします。
14	質問者D	2年保育を2園（境川、朝日）で導入するとあるが、山の手はなぜ複数年保育をしないのか。市立の格差があるのではないかと。	山の手幼稚園は現在、小学校舎1階にあり、保育室2、遊戯室1という状況です。今後、5歳児が2学級になる予想があります。小学校舎を使用していることもあり、現時点では複数年保育を実施するための2学級以上の保育室を確保することが困難であると判断いたしました。
15	質問者D	HPを見やすくして欲しい。	ご意見として承ります。
16	質問者A	小学生と幼稚園児の交流はお互いにより影響があり、とても良いことだと思っている。7園になった時に交流が難しくなると思われるが、コーディネーターを含め、幼稚園児の送迎等、マンパワーが必要になる。体験入学等も含めて、幼稚園の先生方の問題だけでなく、小学校の先生方の問題としてとらえて欲しい。	幼保小連携について、今までも小学校の先生方と交流活動や体験入学等実施してまいりました。今後も、幼保小連携を継続していくことで、小学校への円滑な接続に取り組めます。 また、全ての施設と小学校への円滑な接続を進めるため、市立幼稚園が幼保小連携の中核的・コーディネーター的役割を担います。
17	質問者E	緑丘幼稚園が閉園することで、緑丘小学校が将来廃校するののかという不安がある。緑丘校区の子どもが、境川幼稚園に通園し、緑丘小学校に入学できるような配慮ははしてもらえるのか。	小学校についてはお住まいの地域の小学校区になるため、住居地が緑丘校区であれば緑丘小学校に入学となります。

別府市就学前教育・保育ビジョン（素案）修正版説明会質疑応答等概要一覧

番号	質問者	質問概要	回答内容（市の考え方）
18	質問者F	現状では小学校に通う兄弟と一緒に登園することができている。閉園する市立幼稚園の園児は中学校区の継続園に通園することになるため、通園路について不安がある。送迎も含め、通園路の安全確保を行って欲しい。	登園児の安全確保について、各園で調査を実施しています。子ども達が安全に登園できるように周辺の調査をしているので、ご安心ください。
19	質問者F	現在、幼稚園と小学校で運動会等と一緒にしているが、幼稚園が閉園すると、そのつながりがなくなる。中学校区内の幼稚園で小学校の行事を経験していくと、そのまま小学校区外の小学校でいいと思い、校区外申請をする保護者も増えるかもしれない。閉園する幼稚園の小学校区の児童数が減っていくのではないかと不安である。幼稚園と小学校の行事等の連携を考えて欲しい。	幼保小連携については令和6年度に指定したモデル地域の中で、市立幼稚園だけではなく保育所や私立幼稚園、認定こども園についても同じような交流活動等ができるように検討していきます。その際、中学校区内の全ての小学校との連携が行えるような取組を進めたいと考えています。モデル地域の中で課題を解決し、令和7年度にモデル地域の成果と課題の周知を行い、令和8年度以降すべての中学校区で連携を推進していきます。
20	質問者G	架け橋期カリキュラム（案）について、開発会議の具体的な内容や、構成員を教えてください。	架け橋期カリキュラム（案）とは、5歳児から小学校1年生の2年間の幼保小の架け橋期に求められる教育内容を改めて可視化したものです。具体的な取り組みの例として、1年生の生活科で秋見つけがあります。秋を見つけて、春との比較をしていきます。幼稚園は小学校での生活科の授業を見直し、幼稚園の中で自然体験をしていき、季節ごとの変化も話をしていきます。このようなカリキュラムを作り、幼児教育から小学校教育へと繋げていきます。開発会議の構成員は、幼稚園、保育所、認定こども園、小学校関係者を想定しています。
21	質問者G	施設整備の期間について令和6年度から8年度とあるが、閉園するスケジュールの最短が令和7年度末なので、修繕や改修が行われていない施設も想定される。予算的などころもあると思うが、令和8年度末だと間に合わないのでは令和7年度末までである程度の整備が完了して欲しい。	施設整備について、令和8年度に人数が増える園については令和6年度に調査し令和7年度に予算を計上し実施していきます。令和9年度に人数が増える園は令和7年度に調査し令和8年度に予算を計上し実施していきます。簡易な修繕については随時速やかに実施していきます。
22	質問者G	預かり保育（早朝対応）の課題の中で関係団体とあるが、具体的にどのような団体を想定しているのか。	早朝保育については、職員の勤務労働条件にも関わるため、職員との話し合いが必要です。今後、早朝に対応する支援員等の配置を含め、どのような体制で実施していくかは検討課題と考えています。
23	質問者H	4歳は市内全域を受け入れるということであるが、小学校について校区外申請をして校区外の小学校に入学することは可能なのか？ また、4歳で校区外、5歳になったら校区内の幼稚園に通うことができるのか。そのような場合はコーディネーターがフォローしてくれるのか？	小学校は原則居住地の小学校区に入学します。校区外申請をする場合は、校区外申請の要件等に該当する必要があるため、学校教育課に相談してください。 また、4歳で校区外の園に通園し、5歳で校区内の幼稚園に通う場合も可能です。 コーディネーターは就学前教育・保育施設と小学校との日常的な交流活動を推進し、連携の強化を図ります。幼保小連携の一つである中学校区連絡会では、特別な支援や配慮が必要な子ども等の情報を小学校へ伝えることで、円滑な就学につなげていきます。
24	質問者I	校区外申請要件の見直しを検討しているのか。	検討しておりません。
25	質問者J	複数年保育について状況に応じて見直すとのことですが、市立幼稚園を経験されている方は幼児教育の良さがわかると思うが、家庭の状況に応じて保育所を選択する方も多くなっていくと思う。市立幼稚園を利用する人が減少する可能性がある中で、どのような状況で複数年保育を見直すことが想定されるのか？	現在の施設の状況も考え、2園（境川、朝日）で複数年保育を実施します。特別な支援が必要な子どもの受入れ状況や、複数年保育の実際の利用人数等によりニーズを確認していきます。複数年保育の拡大については、保護者ニーズと民間との状況等を見ながら検討していきます。
26	質問者J	幼保小連携について、現在の1校1園制では、小学生5年生が幼稚園児をお世話し、小学校に入学すると6年生がお世話をするような交流がある。5歳児になって保育園を継続した場合、こういった形で小学校と連携して行くか教えて欲しい。入学体験はできるだろうが、小学校の中で現在の幼稚園生が活動していること、参加していることをどのように今後連携していくのか。子ども達もそれぞれとの関わりがよい経験になっている。校区外の子たちは自分たちの小学校とどのように関わっていくのか具体的に教えてください。	No.19と同様
27	質問者C	定員について、2年保育を実施する園については、別府市内全域で4歳児を受け入れるとあるが、5歳児の定員は4歳児からの継続児童数分減っていることになるのか。5歳児の定員数は4歳児から入っている子が優先であれば、校区内で5歳児から入園する子どもは人数が多ければ抽選になるのか。抽選が想定されるのであれば、市立幼稚園を選ぶ保護者も減るのではないのか。	2年保育を実施する園については、5歳児の定員は4歳児からの継続児童が優先されます。5歳児の申込者が定員数より多い場合は以下の取扱いとします。 ①優先的な入園となる子どもについては、以下のとおりです。 ・障がいや家庭状況等で特別な配慮が必要な子ども ・入園受付の時点で未就園の子ども ②入園受付の時点で就学前教育・保育施設に在籍している子どもについては、希望人数が定員を超えている時は公開抽選とします。 ③5歳児について、4歳児から在籍している子どもについては、次年度5歳児学級に在籍します。